

四国地方整備局 入札監視委員会第一部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所	令和7年6月30日(月) 高松サンポート合同庁舎 13階 災害対策室					
委員(部会委員5名)	部長	梶谷 義雄 (香川大学教授)				敬称略 委員は50音順
	委員	潮 秀隆 (弁護士)				
	委員	土屋 哲 (高知工科大学教授)				
	委員	西中 美和 (香川大学大学院教授)				
	委員	森川 さち子 (公認会計士)				
審議対象期間	令和6年10月1日 ~ 令和7年3月31日契約分					
審議案件	総件数 8件(工事 4件、建設コンサルタント業務等 3件、役務及び物品 1件)					
	入札方式	件名	契約の相手方	契約金額(千円)	入札者数	落札率(%)
工事	一般競争(政府調達協定適用)	令和6-9年度 横断道津田大橋下部P4工事	戸田建設(株)	2,327,600	4	92.00
	一般競争(政府調達協定適用外)	令和6-7年度 高松港湾合同庁舎機械設備改修(2)工事	新英工業(株)	418,000	3	92.52
	一般競争(政府調達協定適用外)	令和6-7年度 山鳥坂ダム上敷水川橋下部工事	(株)ノバック	385,000	2	91.90
	一般競争(政府調達協定適用外)	令和6-7年度 窪川佐賀道路荷稻改良工事	植田興業(株)	275,000	1	95.42
建設コンサルタント業務等	簡易公募型競争入札	令和6年度 物件移転等標準書(令和7年度版)作成業務	(一社)四国クリエイト協会	9,559	1	94.97
	通常指名競争	令和6年度 香川管内交通量観測業務	(株)四電技術コンサルタント	10,890	9	79.65
	簡易公募型プロポーザル	令和6-7年度 吉野川治水対策検討業務	いであ(株)	48,994	1	100.00
役務及び物品	一般競争入札	令和6-10年度 松山管内LED道路照明賃貸借	みずほ東芝リース(株)	17,228	1	98.77
報告事項	① 指名停止等の運用状況 ② 談合情報等への対応状況 ③ 再度入札における一位不動状況 ④ 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況 ⑤ 一者応札の発生状況、入札者及び技術(企画)提案書提出者が1者の発生状況 ⑥ 不調・不落の発生状況 ⑦ 高落札率の発生状況(工事) ⑧ 四国地整及び事務所ごとの平均落札率					
委員からの意見質問、それに対する回答等			別紙のとおり			
委員会による意見の具申又は勧告の内容			特になし			
備考						

## 1. 抽出案件の審議概要

### (1) 一般競争入札（政府調達協定適用）

意見・質問	回 答
<b>令和6－9年度 横断道津田大橋下部P4工事</b>	
<b>●落札率について</b>	
発注金額の大きい案件ではあるが、落札率9.2%と低くなった理由について教えていただきたい。	より魅力のある工事というところで、より競争性が働いたことにより落札率が低くなったものと推察される。
<b>●技術点について</b>	
落札率は低く、技術点についても落札業者が高くなっているがどういう点が優れていたのか教えていただきたい。	今回の技術提案の評価項目として、「橋脚工の品質確保」ということで、鋼管矢板基礎における鋼管杭の現場の溶接が性能に及ぼす影響が大きいことに対する提案と「現場施工時の配慮」として、インフラ分野のDXやICTの活用に対する提案について他者に比べて優れていたため。
<b>●低入札について</b>	
低入札となっている2者は大きな企業であり、大きな企業は積算の能力も高く低入札とならないと想像するが、なぜ今回低入札となったのか。	条件も明示しているため、より高い精度で積算できると思われるが、より調査基準価格に近い金額で入札されたのではないかと推察される。
低入札の業者に対して追加資料を求めていたのに出さずに辞退されたのはなぜか。大きい会社であるにも関わらず契約の可能性を放棄することがあるのか。	調査基準価格を下回った者には施工体制の確認等の提出書類を求め、施工実現性を確認し、低入札であっても工事を確実に施工してもらうための体制を求めることとなるため、それを敬遠して辞退されたのではないかと推察される。

### (2) 一般競争入札（政府調達協定適用外工事）

意見・質問	回 答
<b>令和6－7年度 高松港湾合同庁舎機械設備改修(2)工事</b>	
<b>●施工体制評価点について</b>	
入札参加業者のうち1者について、企業評価点も高く入札価格も低かったが、施工体制評価点が大幅に他者と差があり落札とならなかったという結果となっている。 施工体制評価点については評価点の高い企業が多いと思うが、評価方法についてご説明いただきたい。	今回3者の入札があり、そのうちの1者について低入札となり施工体制を確認するための追加資料を求め、施工体制台帳や材料・資材の搬入、品質確認及び配置予定技術者等様々な資料を確認したところ、一部施工体制の確認ができないところもあり、評価点が低くなった。
低入札となれば辞退する企業もあると思うが、今回は追加資料の提出があったということか。	そのとおり。
意見・質問	回 答
<b>令和6－7年度 山鳥坂ダム上敷水川橋下部工事</b>	
<b>●特になし</b>	

意見・質問	回 答
<b>令和6-7年度 窪川佐賀道路荷糶改良工事</b>	
<b>●競争参加資格について</b>	
<p>今回参加されたのが6者で、そのうち1者について、同種又は類似の実績が無いということで欠格となっているが、この1者について、今後同種の道路工事に参加する方策や道筋はあるのか。</p> <p>その制度は参加者は理解しているか。そのような取り組みを理解していればアプライしてくることもなかったと思うので、是非宣伝をお願いしたい。</p>	<p>例えば直轄工事の実績が無いという場合は、自治体の実績を直轄工事の実績と同等に評価する自治体実績評価型や工事の成績を評価せずに同種の工事实績のみで評価するチャレンジ型等、直轄工事の実績が無くとも競争に参加できる方策は制度上あるので、その制度を活用して広く参加者を募るといった試行を現在も行っている。</p> <p>現在も試行中なので数が多い状況ではないが、整備局としても参加事業者数を確保することは非常に重要な取り組みであるため、今後とも更なる拡大を考えていきたい。</p>
<b>●応札者数について</b>	
<p>今回一者応札ということで案件抽出したのだが、入札数は5者ではなく1者入札ということでしょうか。</p> <p>複数者の参加があったが、入札の結果1者となった場合というのが備考か何かでわかればよろしいかと思う。</p>	<p>入札の結果、有効な札が1者のみということだったので、結果として一者応札となっている。低入札となり、その後辞退されるとその札は無効となるため応札者の分母にはカウントされない。</p> <p>複雑であり、今後の案件抽出の際には、参加業者数がわかるようご説明させていただく。</p>

(3) 簡易公募型競争入札（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
<b>令和6年度 物件移転等標準書(令和7年度版)作成業務</b>	
<b>●技術提案について</b>	
<p>実施方針技術提案書の評価が低くなっている理由を説明いただきたい。</p>	<p>業務の理解度や工程管理については、最低限理解いただいているが、高い評価ができる部分の記載がなかったため低い評価となっている。</p>
<b>●応札者数について</b>	
<p>想定業者は62者だったが結果一者応札となった理由をお聞かせいただきたい。</p>	<p>ダウンロードした者は13者あったが、その13者に対してアンケート調査を行い、その結果、業務に対するノウハウが無いとか人員不足であるといった意見であった。用地調査業務については、用地測量や建物、物件の調査を行うことが通常であるが、本業務は少し特殊性があったため応募者が少なかったのではないかと推測される。</p>
<p>本業務は今回だけでなく毎年発注されていると思うが、過去も一者応札であったのか。</p>	<p>数年一者応札が続いている状況である。</p> <p>参加資格では補償関係コンサルタントであれば参加可能なくらい、門戸をかなり広げている。</p> <p>入札参加者の少なかった案件については、できるだけ条件を緩和しているが、参加いただけなかった業者の方々のご意向を確認しながら、競争性を確保できるように努めていきたい。</p>

意見・質問	回 答
<p>人気が無い業務ということであるが、金額的には高いものと思われるのに一者応札となるのはなぜか。</p>	<p>用地測量や建物調査等は毎年数百件の業務を出しており、参加しやすいと思われるが、単価作成というノウハウの必要な業務であり、手を挙げにくいところがあると推察される。基準に従ってその基準通りに調査や測量をするという業務は手を挙げやすいが、基準を作るという業務は、できる方が限られるのではないかとと思われる。</p>

(4) 通常指名競争入札（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
<p><b>令和6年度 香川管内交通量観測業務</b></p>	
<p>●指名競争について</p>	
<p>本業務は指名競争で発注しているが、去年は同じ交通量調査で一般競争した結果一者応札であったと記憶している。交通量調査については毎回指名競争にするわけにはいかないのか。</p>	<p>過去より通常指名競争としている。交通量を観測するだけの業務であれば通常指名競争としているが、それ以外に交差点調査等の追加業務があれば総合評価方式となる場合もある。</p>

(5) 簡易公募型プロポーザル（建設コンサルタント業務等）

意見・質問	回 答
<p><b>令和6-7年度 吉野川治水対策検討業務</b></p>	
<p>●予定価格について</p>	
<p>予定価格を設定する際には、技術力や数字の精度を求めることを見込んで設定されていると思うが、本件についてはどのように設定がされているのか。</p>	<p>公募型プロポーザル方式のため、契約金額については、特定した者の見積もりを採用することとなっている。発注に当たっては、おおよその想定価格を示しており、気候変動でいくらを設定しているかは公にはできないが、気候変動により今後河川の流量が増え、計算ケースが増えるということと、施策を検討していく上で、人口減少や高齢化等様々な検討を要するため、その部分について想定価格に見込んで発注している。</p>
<p>●発注者協議について</p>	
<p>気候変動を踏まえた治水対策の検討については、難易度の高い業務であると思うが、前段で勉強会等を行ってから発注する方が有効ではないかと考えるが、事前の協議等はどのように行ったのか。</p>	<p>特定の業者と調整することはできない。気候変動を踏まえた施策というのは平成29年以降本省でも出されており、ある程度やるべきことはわかっていると想定した上で発注している。流量増加に伴い、例えば他機関のダムやため池等あらゆる既存ストックを活用する観点であるとか、少子高齢化や人口減の社会の中でどういう治水対策を講じていくかということは世の中に出ている。気候変動を踏まえた治水対策については、そんなに新しい施策ではなく、四国でも肱川や那賀川でも計画を策定しており、全国的にも十数箇所では計画の改訂を行っている。参加資格についても四国本店に限定しているわけではなく、全国区の会社に全国でも十数箇所の実績のある計画の検討をお願いするものという認識である。</p>

(6) 一般競争入札（役務及び物品）

意見・質問	回 答
<b>令和6－10年度 松山管内LED道路照明賃貸借</b>	
<b>●LED照明灯について</b>	
LEDに取り替える前の既存の照明灯は蛍光灯という理解で良いか。 蛍光灯については近いうちに製造が禁止となると報道で目にしており、LEDに切り替えるまで数年要すると思うが、その間は在庫があるという理解でよいか。	そのとおり。
<b>●所有権について</b>	
LED照明灯の所有権はどこになるのか。	4カ年の契約期間は受注者にあり、その後契約が終了すれば所有権は国土交通省となる。
<b>●品質確保について</b>	
リース契約ということだが、照明灯自体の品質確保はどのように確認しているのか。	照明灯自体について、発注の際の仕様書にて一定程度の品質を求めており、品質の確認を行っている。
<b>●品質確保について</b>	
リース契約としているのは、売買契約よりもより早くLED照明灯に切り替えられるという認識でよろしいか。	そのとおり。

**2. 報告事項**

①. 指名停止等の運用状況

意見・質問	回 答
特になし	

②. 談合情報等への対応状況

意見・質問	回 答
特になし	

③. 再度入札における一位不動状況（「価格が最低である入札参加者が、当初入札時と同一となる案件」の発生状況）

意見・質問	回 答
特になし	

④. 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況

意見・質問	回 答
特になし	

⑤. 一者応札の発生状況、入札者及び技術（企画）提案書提出者が1者の発生状況

意見・質問	回 答
一者応札は年度で見れば減っているが、吉野川水系の護岸(事務局注釈:砂防堰堤のこと)工事で軒並み落札率が高くなっているのはなぜか。	山間部での工事ということもあり、参加業者が少ない状況である。工種も砂防工事ということで特殊な工法等を必要とする工事であり、以前から参加者が少ない状況にある。また、建設業の縮小や資格者や重複者等の実情もあり、一者応札が多い状況であり、落札率も高くなっている。

⑥. 不調・不落の発生状況

意見・質問	回 答
特になし	

⑦. 高落札率の発生状況（工事）

意見・質問	回 答
特になし	

⑧. 四国地整及び事務所ごとの平均落札率

意見・質問	回 答
特になし	

### 3. まとめ

<p>今回の審議は令和6年度の下半期が対象ではあるが、データとしては令和6年度全体で一者応札については減少しているが、不調・不落については令和5年度に比べて若干増加しているのは気になるところであり、今後も注視していく必要があると思われる。</p> <p>今回の抽出案件に限っては一般の工事についてはすべて競争が行われていると感じた。維持工事については今回抽出されていないが、その部分は競争性について少し心配ではある。</p> <p>一方で業務については、一者応札となっている案件もあり、業者にアイデアを求める業務や競争が働きにくいような案件もあるため、発注者側からもう少し情報を出さないと応札者は増えないと思われる。</p> <p>情報の出し方も様々だと思うが、是非創意工夫して進めて行っていただきたい。</p>
--